

## 第7章 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

### 【自己紹介】

氏名:川崎 智志

所属:一般財団法人 弘潤会

勤務:宮崎市東大宮地区地域包括支援センター

## 第7章 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

### 【目的】

指導・支援、コーチング、スーパービジョン等の違いを踏まえ、自らがそれらを受ける際の心構えや、専門職として不断に自己研鑽を行うことの重要性を理解する。

## 第7章 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

### 【本章の修得目標】

- ①個人学習や実践活動を促進するために指導を受けることができる。
- ②自らが指導を受ける態度に配慮できる。
- ③生涯学習を意識して自己学習の計画を立案できる。
- ④教えるための考え方・内容・方法(コーチング・スーパービジョン等)の意義について説明できる。
- ⑤自己評価と他者評価の必要性について説明できる。

### 第1節 研修に役立つ「学習」の考え方

テキストP580～

～経験の上に知識技術を積み重ねていく方法～

- ①自己主導型学習(⇔教師指導型学習)
  - ・「学習へのレディネス」「学習の方向づけ」の成人学習。
  - ・自己の思考、考え方の変化から、自分で課題を決め学習する。
  - ・自らの経験を学習のリソース(資源・資産)とする。
  - ・現実に直面している課題など必要性に応じて学習項目を選ぶ。
  - ・今すぐ必要としている情報を学ぶ課題中心型学習。

第1節  
研修に役立つ「学習」の考え方

テキストP581～

無断複写・転載を禁ずる

②構成主義学習理論(構成主義)

③状況に埋め込まれた学習

→状況的学習:様々な社会的活動に参加することを通じて学ばれる  
知識と技能の習得実践

④アウトカム基盤型学習

→何を学び、何を習得したかを重視。

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性

テキストP583～

①個人学習～何を重点的に学習するか、必要な情報の選択～

(1) 動機づけ(モチベーション)

(2) 読書

(3) 観察

無断複写・転載を禁ずる

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性

無断複写・転載を禁ずる

○意欲と動機づけ



第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性

テキストP585～

無断複写・転載を禁ずる

①個人学習～何を重点的に学習するか、必要な情報の選択～

(4) インタビュー

(5) 自己開発計画

→自身の業務における強みと弱み。強みを伸ばし弱みを補うために、どのような能力を身につけるべきか考える。

第2節 個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP586～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

(1)メール交換

(2)相互コーチング

→指導者－学習者の関係性に左右されない、同僚(同じ立場にある者同士)のコーチングの効果。

無断複写・転載を禁ずる

ジヨハリの窓

無断複写・転載を禁ずる

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	<b>【開かれた窓】</b> 自分も他人も知っている自己	<b>【盲目の窓】</b> 自分は気づいていないが、他人は知っている自己
他人は気づいていない	<b>【隠された窓】</b> 自分は知っているが、他人は気づいていない自己	<b>【未知の窓】</b> 誰からもまだ知られていない自己

- ①頭がいい
- ②発想力がある
- ③段取り力がある
- ④向上心がある
- ⑤行動力がある
- ⑥表現が豊か
- ⑦話し上手
- ⑧聞き上手
- ⑨親切
- ⑩リーダー資質がある
- ⑪空気が読める
- ⑫情報通
- ⑬根性がある
- ⑭責任感がある
- ⑮プライドが高い
- ⑯自信家
- ⑰頑固
- ⑱まじめ
- ⑲慎重

ジヨハリの窓

無断複写・転載を禁ずる

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	<b>【開かれた窓】</b> 自分も他人も知っている自己 ①頭がいい ⑦話し上手 ⑩まじめ	<b>【盲目の窓】</b> 自分は気づいていないが、他人は知っている自己 ⑬根性がある ⑮プライドが高い
他人は気づいていない	<b>【隠された窓】</b> 自分は知っているが、他人は気づいていない自己 ⑰頑固	<b>【未知の窓】</b> 誰からもまだ知られていない自己 ⑥表情豊か ⑧聞き上手

- ①頭がいい
- ②発想力がある
- ③段取り力がある
- ④向上心がある
- ⑤行動力がある
- ⑥表現が豊か
- ⑦話し上手
- ⑧聞き上手
- ⑨親切
- ⑩リーダー資質がある
- ⑪空気が読める
- ⑫情報通
- ⑬根性がある
- ⑭責任感がある
- ⑮プライドが高い
- ⑯自信家
- ⑰頑固
- ⑱まじめ
- ⑲慎重

第2節 個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP588～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

(3)メンタリング

(4)ジョブ・シェアリング

無断複写・転載を禁ずる

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP589～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

(5)アクション・ラーニング

→実際の行動を通じて問題を解決する学習システム。

(6)メーリング・リスト

(7)会議

無断複写・転載を禁ずる

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP590～

(5)ワークショップ

無断複写・転載を禁ずる

方法の名称	概要
ディベート	立場が違う人の考えに理解を深める方法。意見が対立する場合、反論の組み立て方を学ぶ。
コンセンサスゲーム	互いの考えや違い、協働作業のポイントを学ぶ。統計データの使用により、複数の施策案の絞り込みなどを学ぶ。
6つの帽子	色に対応した視点から意見を出し、思考の内容でも事象の見方が変わることを学ぶ。(白・事実とデータ、赤・感情、黒・警戒注意、黄・希望、緑・新しい考え、青・冷静)
リフレーミング	強制的に反応の側面で物事を見ることで、ネガティブな思考や固定概念を打ち破る。
パネルディスカッション	テーマに関しての様々な意見を聞き知識を深める。

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP590～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

(5)ワークショップ

研修を企画、運営したり組み立てに係る際のポイント

2週間後の記憶(デールの学習効果)

- ・テキストを読む10% ・講義をきく20% ・静止画を見る30%
- ・動画を見ながら聴く50% ・言うか書く、自分が講義70%
- ・体験する 90%

無断複写・転載を禁ずる

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP591～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

(9)スーパービジョン

「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」

無断複写・転載を禁ずる

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP591～

②相互学習～2者あるいはグループの間で起こる情報や知識の共有化による相互作用～

無断複写・転載を禁ずる

(10) OJT (On the Job Training)

OJT定義

「上司(指導者)が部下(学習者)に対して、知識、技術、職場における役割、取組姿勢、態度、マナー等の向上を仕事の場を通して、“**計画的**”“**継続的**”“**意識的**”に指導、援助すること」

第2節  
個人学習と相互学習に求められる内容とその関係性 テキストP591～

(10) OJT (On the Job Training)

無断複写・転載を禁ずる

	OJT 職務を通じての研修	OFF-JT 職務を離れての研修
なぜ?	職員のレベルに応じた、実践的な能力を高めるために	職員の視野の拡大や、専門的能力の習得のために
誰が?	職員の指導者(上司)が直属の学習者(部下)に対して	職場内外の講師(指導者)が職員に対し、あるいは職員が相互に
いつ?	日常の職務(仕事)を通じて常に	日常の職務を離れて(ただし職務扱いで)
どこで?	職場で	職場の研修室や会議室、または外部の研修会場等で
何を?	職務に必要な態度や価値観、知識や情報、技術や技能を	職務に必要な態度や価値観、知識や情報、技術や技能を
どうする?	日常的あるいは意図的・計画的に指導・育成する(個別指導と集団指導がある)	目的に応じた様々な研修技法により習得させる(相互学習する)

第3節  
学習の評価とキャリアデザイン テキストP592～

①学習・研修の評価

P(計画)・D(実行)  
C(評価)・A(改善)

→研修記録シートの活用。



無断複写・転載を禁ずる

第3節  
学習の評価とキャリアデザイン テキストP7～

②介護支援専門員のキャリアデザイン

《専門研修 I》

多職種協働の重要性を理解し、予防的な視点や体系的なアセスメントを身につけた上で、様々な状況等を勘案し、**実践しうる複数の対応策を提案**できるよう、必要な知識・技術や留意点の修得に特に重点を置いています。

《専門研修 II》

自らの実践を振り返り、特に個別事例に基づいて他の事例にも対応できる事項を抽出すること、**地域課題を捉えて多職種連携や社会資源への働きかけに展開**すること等の方法の修得に重点を置いています。

《主任介護支援専門員研修・主任介護支援専門員更新研修》

介護支援専門員に対する自らの指導等の実践の理解および振り返り、主任課程までの内容の確認と、特に**地域づくりに向けた課題の把握やその改善・指導の実践に関する分析・評価**に重点を置いています。

無断複写・転載を禁ずる

テキストP7～

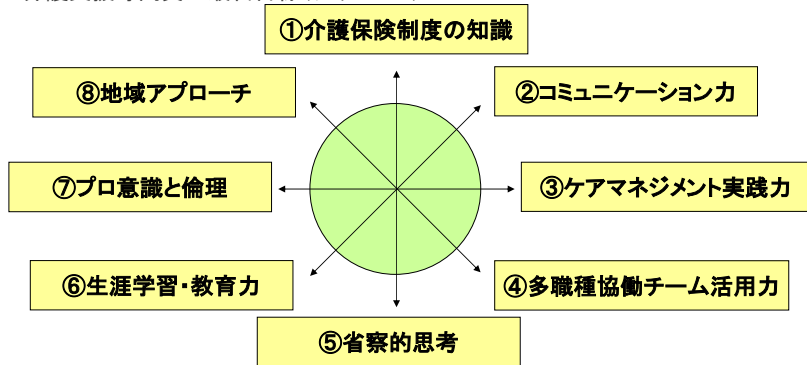
第3節  
学習の評価とキャリアデザイン

無断複写・転載を禁ずる

テキストP594～

②介護支援専門員のキャリアデザイン

図表11 介護支援専門員の最終目標(アウトカム)



専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第3節  
学習の評価とキャリアデザイン

テキストP594～

無断複写・転載を禁ずる

②介護支援専門員のキャリアデザイン

		研修課程				
		実務	専門 I	専門 II	主任	主任更新
項目	①介護保険制度の知識	部分的	部分的	全体的	専門的	専門的
	②コミュニケーション力	部分的	単純な事例	複雑な事例	支援困難事例	支援困難事例
	③ケアマネジメント実践力	経験不足	部分的	全体的	全体的	全体的
	④多職種協働チーム活用力	経験不足	未熟	部分的	包括的	包括的
	⑤省察的思考力	未熟	不十分	多面的	多面的	多面的
	⑥生涯学習力	未熟	不十分	意欲的	指導的	指導的
	⑦プロと意識と倫理	未熟	未熟	不十分	実践的	実践的
	⑧地域アプローチ	未熟	未熟	不十分	試行的	政策提言

最短10年

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会

第7章  
個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習

テキストP596～

自己学習をしていくポイント

【ポイント例】

- 経験の上に知識技術を積み重ねる学習方法の展開について学習する。
- 「個人学習」と「相互学習」の特徴を踏まえた活用について学習する。
- 評価を念頭においた成長プロセスの実践について学習する。
- 
- 
- 

無断複写・転載を禁ずる

専門研修課程 I 第7章

宮崎県介護支援専門員協会